

名方郡九座大一座 小八座
 天石門別豐玉比賣神社
 和多都美豐玉比賣神社
 天佐自能和氣神社
 多祁御奈刀彌神社
 勝浦郡八座小
 事代主神社
 宇母理比古神社
 速雨神社
 建嶋女祖命神社
 那賀郡七座並小
 宇奈爲神社
 室比賣神社
 八梓神社

天石門別八倉比賣神社大月次 新嘗
 麻能等比古神社
 大御和神社
 御間都比古神社
 意富門麻比賣神社
 勝占神社
 山方比古神社
 阿佐多知比古神社
 御縣神社
 和耶神社
 和奈佐意富曾神社
 建比賣神社
 賀志波比賣神社

神社殿録第六十一之卷

北海道三

○阿波國

中臣朝臣連胤謹撰

阿波國五十座 大三座小四十七座

阿波は假字也、和名抄、國名阿波、國府在名東郡、元是名方郡也、式廿二、上民部 阿波國、上、爲中國、同廿四、上行程上九日、下五日、海路十一日、和名鈔同、但し拾芥抄、國郡阿波、上、○古事記、神代生伊豫二名之島、此島者身一而、有四面、每面有、名、粟國謂大宜都比賣、古事記云、阿波國東北角、日本紀、神功皇后卷云、尾田吾田節之淡郡、全文阿波郡事代主、神社の條に出づ、○舊事紀、國造、粟國造、輕島豐明朝御世、高皇產靈尊九世孫千波足尼定賜國造、續日本紀、延曆二年、阿波國人粟凡直豐穗任國造、

日本紀、神代一書曰、次生淡洲、此亦不以充見數、略中次淡路洲、次伊豫二名洲、また一書曰、先以淡路洲淡洲爲胞、是また一説也、口決に淡州を志摩國とし、纂疏に南海之阿波に、あらずとするは共に非也、

板野郡四座 大一座小三座
 板野は伊太乃と訓べし、和名鈔、郡名板野、假字上の如し式廿二、民部拾芥抄、國郡板野、

大麻比古神社 名神大
 大麻は於保安佐と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也、一宮祀、頭注等云、大麻彦は猿田彦神、平田爲麻云、決めて天日鷲命なりと云り、共に

明治六年六月十三日
 阿波國板野郡
 中社
 國郡
 東村